

みやき町 DX 推進計画

〈概要版〉



未来に躍動する「共感」「協働」のまち
～ デジタルで人々に「つながり」と「幸せ」を ～



佐賀県みやき町

令和5年3月

- 「DX」はデジタル・トランスフォーメーションの略で「デジタル変革」と訳されます。「DX」という言葉は、2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授によって提唱されたもので、「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること」という概念です。



- 自治体が DX を進めることにより、
- デジタル技術やデータを活用して**住民の利便性を向上させる**
 - デジタル技術やAI等の活用により**業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく**ことが求められています。

■ 本町を取り巻く環境は劇的に変化しており、新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響や脱炭素社会の構築を含む持続可能な開発目標 (SDGs) への対応など、課題が山積しています。

■ これらの課題に適切かつ柔軟に対応していくため、新しい時代を見据えた、持続可能なまちづくりの基盤となる「第三次みやき町総合計画」を策定しました。

■ 総合計画に掲げる**本町のありたい姿の実現をDXにより加速**するため、「みやき町DX推進計画」を策定し、DXによる地域課題の解決や新たな価値の創出に、地域一体となって取り組んでいきます。

ありたい姿

未来に躍動する「共感」「協働」のまち
～デジタルで人々に「つながり」と「幸せ」を～



「みやき町DX」では本町のありたい姿の実現に向けて、あらゆる分野においてデジタルを有効活用し、地域課題の解決や新たな価値の創出を目指します。

※DXは「目的」ではなく「手段」です

デジタル(D)を上手に使い、まちの暮らしや仕事、産業をより良い方向に変革(X)させていくことで、みんなが「健幸」に暮らせるまちづくりを目指す「みやき町DX」を推進していきます。



「みやき町DX」 3つの基本理念 (3カ条)

① みんなのためのDX

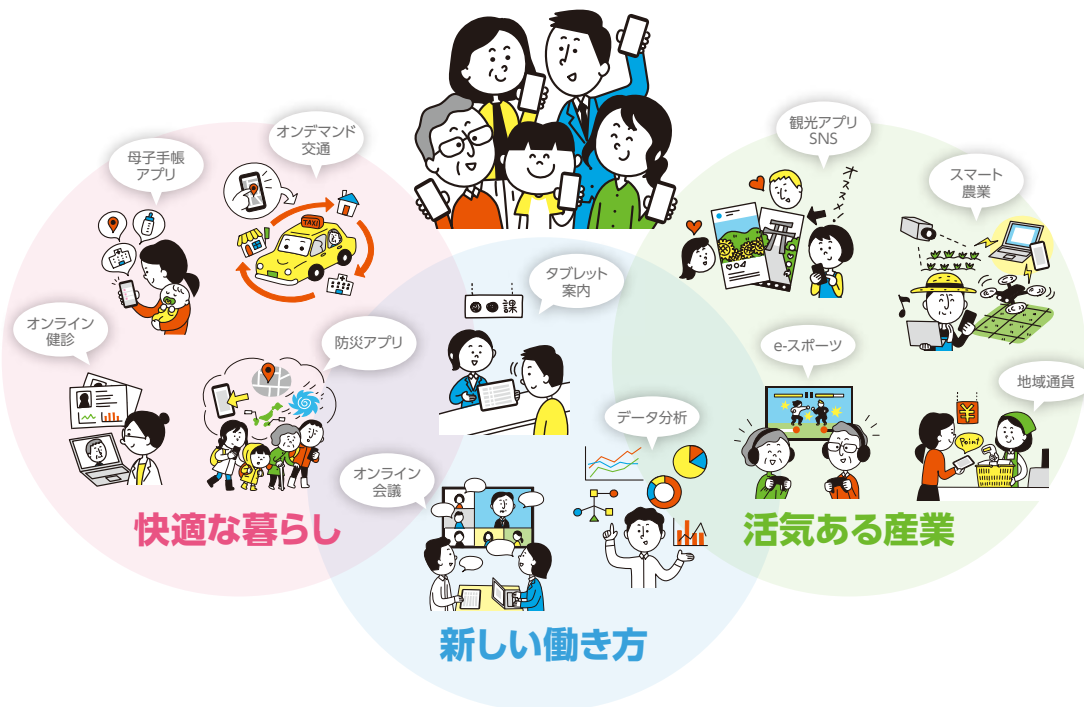
デジタルに不慣れな人も誰一人取り残すことなく、みんなが幸せを得られるDXを目指します。

② みんなで取り組むDX

まちのありたい姿の実現に向けて、町民や地域の事業者、行政が一体となり、まちに新たな価値をもたらすDXを目指します。

③ みんなを変えるDX

多様な価値観や発想からイノベーションを創出し、時代に合った豊かなまちへと変わっていくためのDXを目指します。



- 本町のありたい姿の実現に向けて、「**基本戦略**」を設定しました。
- 3つの基本戦略の推進にあたっては、検討過程で導出した「**重点テーマ**」(※赤字)に沿った具体的な施策に取り組み、みやき町DXを推進していきます。

暮らしのDX

デジタルを上手に取り入れ、**「健幸」**で**「安全・安心」**な暮らしを支え、人々に**「つながり」**をもたらすことで、持続可能で豊かなまちづくりを目指します

産業のDX

産業の担い手が**「総合力」**を発揮し、デジタルを活用した新たなサービスを共創することで、まちの**「活性化」**を目指します

行政のDX

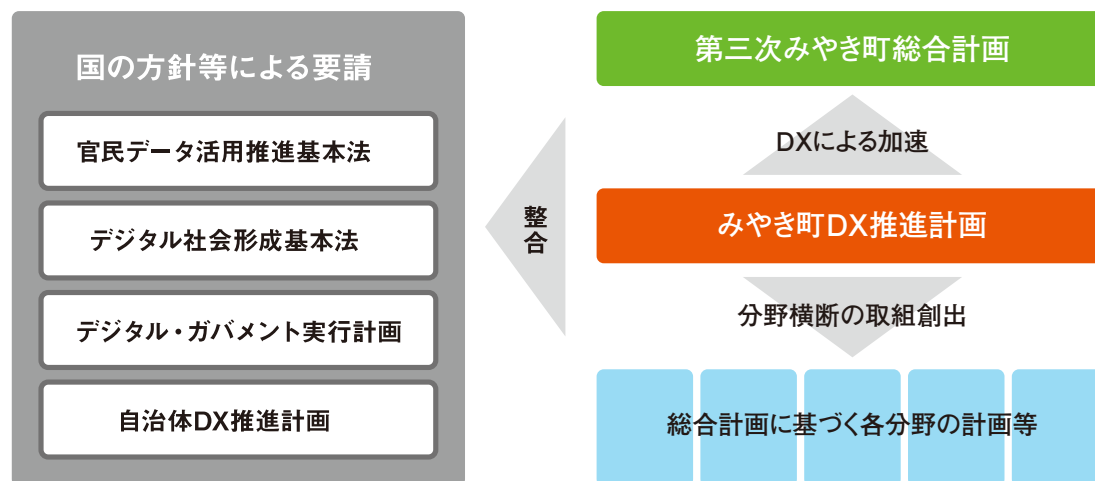
「町民サービスの向上」のためのデジタル化を早期に進めるとともに、DXにより価値を創出し続けていく**「仕組みづくり」**を目指します

(1) 位置づけ

- 本計画は、本町の最上位計画「第三次みやき町総合計画」の実現をDXにより加速するためのものです。
- 「自治体DX推進計画」など国の方針・計画等とも整合を図り、着実に取組を推進します。
- 本計画は、社会環境の変化や技術の進展に併せて、適宜見直しを図っていきます。

(2) 対象期間

令和5年4月～令和8年3月(3年間)



年度	令和5	令和6	令和7	令和8～10	令和11～14
国	自治体DX推進計画				
みやき町	みやき町DX推進計画				
	第三次みやき町総合計画(前期)		(中期)	(後期)	

(※令和8年度以降は、本計画の進捗や国の動向を踏まえ、更新等を適宜検討)

■ 本町のありたい姿の実現に向けた「基本戦略」を着実に推進するため、戦略ごとに「重点施策」を設定し、DXの取組を具体化していきます。

【基本戦略】

暮らしのDX

産業のDX

行政のDX

【重点施策】

テーマ	重点施策
「健幸」・「つながり」・「安全・安心」	皆で取り組む健康づくり
	子どもを豊かに育むまちづくり
	皆が幸せに暮らせるまちづくり
	災害に強いまちづくり
	安全・安心な暮らしづくり

テーマ	重点施策
「総合力」・「活性化」	デジタルを活用したまちの魅力PR
	まちの拠点のスマート化
	地域の働く力の向上

テーマ	重点施策
「町民サービスの向上」・「仕組みづくり」	ワンストップ窓口の実現
	行政業務のデジタル化
	DXをきっかけとした人材育成

// 目指す方向性 //

誰もが生涯を通じて心身ともに健康に過ごせる「健幸長寿のまち」の実現に向けて、健康サービスの充実・高度化に取り組みます。

いつでもどこでも健診・相談を受けられるオンライン環境の整備を進めるとともに、サービス利用者のデータを収集・分析し、一人ひとりの健康状態に合った効果的なサービスを提供することで、健康寿命の延伸を目指します。

また、eスポーツを活用した健康イベントの開催や地域通貨へ還元できる健康ポイントの導入など、新たな観点・手法により町民の健康意識の向上を図ります。

// 想定される主な取組 //

- 健康データプラットフォームの構築
- eスポーツを活用した健康イベントの開催
- 日々の健康活動で貯まる健康ポイントの導入

// DXにより得られる価値 //

- データに基づく健康サービスによる健康寿命の延伸
- デジタルを取り入れた新たな観点・手法による健康意識の向上



// 目指す方向性 //

「子育てするならみやき町」の理念の実現に向けて、子育て世帯の多様なニーズにお応えするサービスの提供により、誰もが安心して子育てできる環境づくりを進めます。

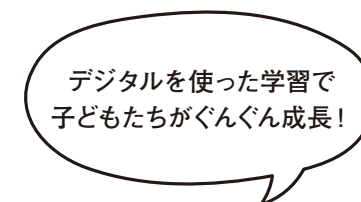
SNSやアプリを通じたプッシュ型の情報発信やオンライン相談により、子育て世帯とのコミュニケーションを活性化するとともに、妊娠・出産・育児期の母子データに基づく一元的支援の実現を目指します。

また、将来を担う子どもたちの教育の充実に向けて、学校教育におけるオンライン学習環境やデジタル教材の整備に加え、家庭学習用のデジタルコンテンツの充実を図るなど、学校・家庭・地域が連携した教育を推進します。



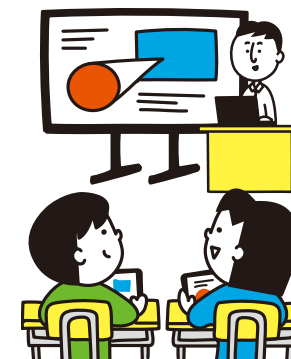
// 想定される主な取組 //

- SNS・アプリによる子育て支援情報の発信、オンライン相談の導入
- 母子データに基づく子育て支援サービスの導入
- 学校・家庭におけるオンライン学習環境やデジタル教材の充実



// DXにより得られる価値 //

- オンラインツール・データを活用した子育て支援の充実・高度化
- デジタル教育の充実による地域のデジタルリテラシー向上



// 目指す方向性 //

まちで暮らすあらゆる人の多様性が尊重され、誰もが平等に社会に参加でき、お互いに支え合えるような環境を整えていきます。

高齢者や障がいのある人が、いつまでも安心して幸せな生活を送ることができるよう、オンライン見守りやオンデマンドの移動・買い物支援など、デジタルによる支援の充実を図ります。公共施設にはロボット、音声案内、チャットボットなど支援ツールを取り入れ、誰もが社会活動に参加しやすい施設の整備を進めます。

また、「子育てするならみやき町」の理念を踏まえ、子育て支援施設にコワーキングスペースを設置しテレワークを推進するなど、仕事と子育てを両立できる環境づくりを進めます。

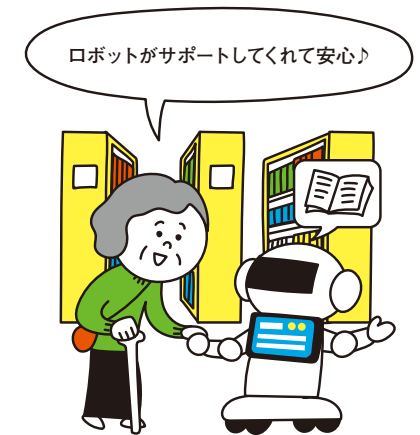


// 想定される主な取組 //

- オンデマンド移動・買い物支援サービスの導入
- オンライン見守り・相談サービスの導入
- 公共施設へのデジタル支援ツールの整備

// DXにより得られる価値 //

- 高齢者や障がい者の「自助」・「共助」機能の充実
- まち全体のデジタル化によるダイバーシティの推進



// 目指す方向性 //

地球温暖化の影響により災害が激甚化する中、災害に強いまちづくりに向けて、ソフト・ハード両面の対策を強化します。

町民が、被災箇所や避難ルートなど必要な情報をタイムリーに入手できるよう、防災アプリや公開型GISを活用した町民と防災組織とのコミュニケーションの活性化を図ります。避難訓練や防災教育には、動画やVR体験などデジタルコンテンツを効果的に取り入れ、地域の防災意識の向上につなげます。

また、台風や局地的豪雨に伴う水害に備え、IoTセンサーやAIを活用した水位監視・予測システムの導入など、デジタルを活用した治水対策の高度化に取り組めます。

// 想定される主な取組 //

- 防災アプリ・公開型GISによる防災情報共有の仕組みの構築
- VR疑似体験を取り入れた高度な防災訓練・教育の実施
- IoTセンサー・AIを活用した水害監視・予測システムの導入

// DXにより得られる価値 //

- 防災情報発信のデジタル化による防災体制・意識の向上
- 災害監視・予測のデジタル化によるまちの防災機能の強化



// 目指す方向性 //

住民の安全・安心な暮らしを守るため、町から犯罪や事故を減らす・なくす仕組みづくりや地域一体でお互いを守りあう体制・意識づくりを目指します。

監視カメラや防犯灯、サイネージといった防犯・交通安全対策設備の充実を図るとともに、IoTセンサーを活用した子供・高齢者の見守りサービスの導入など、町全体の見守り機能の強化に取り組みます。

また、防犯アプリやSNSにより、学校や地域の見守り組織、保護者との間のコミュニケーションの効率化を図るとともに、町民が知り得た犯罪・事故情報をタイムリーに共有できる仕組みを構築するなど、町民参加型の見守り体制づくりを目指します。

// 想定される主な取組 //

- 町民参加型見守りシステムの構築
- 防犯・交通安全監視システムの構築
- 子ども・高齢者のIoT見守りサービスの導入

// DXにより得られる価値 //

- デジタル導入をきっかけとした町民参加型の見守り体制の構築
- デジタルを活用した犯罪・事故の防止機能の向上



// 目指す方向性 //

本町の魅力を町内外へ積極的・効果的にPRし、「住み続けたい」「住んでみたい」「行ってみたい」という「みやき町ファン」を増やすことで、新たな賑わいの創出につなげます。

町民へ効率的・効果的に情報をお届けできるよう、ホームページやSNSなどデジタル情報発信の充実を図るとともに、町民や地域の事業者がまちの魅力を自由に発信できる仕組みを構築し、地域一体となったまちの魅力発信に取り組みます。

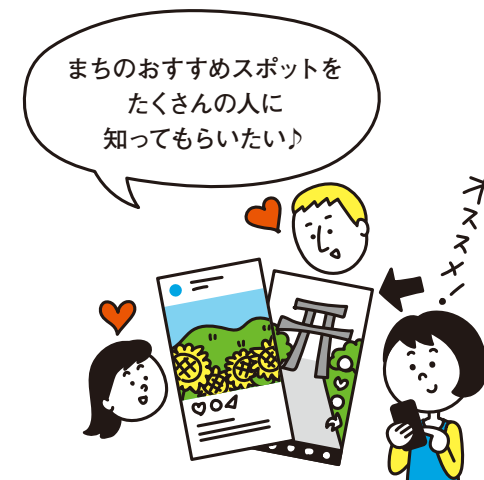
また、本町の景観、伝統文化、歴史など魅力的な資源を活用した観光サービスを創出し、それらをSNS投稿やVR・メタバースによるバーチャル観光など、時代に合った形で発信していくことで、より多くの人に本町の魅力を伝えていきます。

// 想定される主な取組 //

- 町民や地域事業者が町の魅力を自由に発信できるサイトの構築
- ホームページ・SNS・アプリによるデジタル広報の充実
- VR・メタバースを活用したデジタル観光サービスの導入

// DXにより得られる価値 //

- デジタルPRによる地域一体となったまちの魅力発信の実現
- デジタル観光による町外ファンの獲得



// 目指す方向性 //

「スマートシティ」の実現に向けて、まちづくりにデジタルを効果的に取り入れ、地域課題の解決や新たな価値の創出を目指します。

「健幸長寿のまち」の拠点を目指す「市村清記念メディカルコミュニティセンター」には、施設利用者の健康データ管理サービスを導入するとともに、コワーキングスペースやe-スポーツスタジアムなどデジタル施設の充実により、単なる健康施設に止まらない付加価値の創出に取り組みます。

町内の文化・体育施設には、施設利用のオンライン予約サービスを整備し、フリーWiFi環境や高臨場感のスポーツ観戦設備など、デジタル設備の充実を図ることで、町民や町外からの訪問客の利便性や魅力度の向上につなげていきます。

// 想定される主な取組 //

- メディカルコミュニティセンターにおけるデジタルサービス・施設の導入
- 文化・体育施設のオンライン予約サービスの整備
- フリーWiFi環境や高臨場感スポーツ観戦施設の整備

// DXにより得られる価値 //

- メディカルコミュニティセンターのスマート化による地域経済活性化の起点創出
- 町の拠点のスマート化によるスマートシティの推進



// 目指す方向性 //

産業の担い手が効率的に働ける環境づくりや、魅力ある産業や雇用が本町に創まれ続ける仕組みづくりを進めることで、地域の働く力の向上を目指します。

地元企業のデジタル化を支援し、地域全体の生産性向上を図るとともに、デジタル分野で成長を目指すスタートアップ企業との連携した新たな事業の創出に取り組みます。

商業分野では、地域通貨「みやきPay」の普及拡大により、地域経済に好循環を創出するとともに、健康イベントやボランティア活動など町の施策への参加を促すポイントの導入により、地域活性化につなげていきます。

農業分野では、農地や農業者のマッチングをデジタル化し、農業がしやすい環境を整備するとともに、スマート農業の導入を支援し、農家の生産性向上や収益拡大を図ります。

// 想定される主な取組 //

- スタートアップ企業と連携したまちづくり事業の創出
- 地域通貨「みやきPay」と連携した自治体ポイントの導入
- 農地・農家のマッチングサイト・アプリの導入、スマート農業の導入支援

// DXにより得られる価値 //

- 働き手のデジタル化による生産性向上・収益拡大
- デジタル活用事業を通じた新たな産業・雇用の創出



// 目指す方向性 //

町民との大切な接点である窓口の在り方をデジタルにより変革し、「書かない、待たない、回らない、ワンストップ窓口」の実現を目指します。

これまで窓口でしか受けつけられなかった行政手続きのオンライン化を進めるとともに、手続き時の本人確認・認証手段となるマイナンバーカードの普及を促進します。また、カードの利用用途を町民の生活を便利で豊かにする様々なサービスへと拡大していきます。

町内3か所の窓口には、自動応答、ペーパーレス、キャッシュレスなど町民の手続きを効率化するデジタルツールを効果的に取り入れ、窓口サービスのスマート化を進めます。また、役場に行かなくても必要な情報をタイムリーに入手でき、どこからでも相談ができるよう、オンラインコミュニケーションの充実を図ります。

// 想定される主な取組 //

- 窓口サービスにおけるデジタルツールの導入
- オンライン行政手続きの利用促進
- マイナンバーカードを活用した町民サービスの創出

// DXにより得られる価値 //

- オンライン行政手続きの利用拡大による町民の利便性向上
- デジタル接点を取り入れた町民とのコミュニケーションの充実



// 目指す方向性 //

行政の業務の在り方や働き方をデジタルにより抜本的に見直し、町民サービスの更なる向上につなげます。

国が進める情報システムの標準化・共通化については、期限内に着実に対応するとともに、システム移行に併せて業務棚卸やBPRを進めます。また、AI・RPAやテレワークの導入により業務を効率化し、町民サービス向上に資する業務へトリソースをシフトしていきます。

さらに、行政が保有する多様なデータに基づく政策立案 (EBPM) により、真に有効な町の施策に注力していきます。また、データを地域の事業者をはじめとする多様な主体にオープン化し、利活用を促進することで、地域課題の解決や新たな価値の創出につなげていきます。

// 想定される主な取組 //

- オープンデータ・官民データ活用の推進
- 自治体の情報システムの標準化・共通化に併せたBPRの推進
- AI・RPAやテレワークを活用した業務のデジタル化

// DXにより得られる価値 //

- 業務のデジタル化による職員の業務効率化・生産性向上
- データ利活用による地域課題の解決・新たな価値の創出



// 目指す方向性 //

「みやき町DX」という中長期的な目標の達成に向けた取組をきっかけとして、従来の慣習や考え方にとらわれず、新たな視点から変革に挑戦していくことのできる人材の育成を進めます。

まずは、「行政のDX」を着実に推進するため、職員の早期育成に取り組みます。幹部から原課の職員まで、一人ひとりの立場・役目に求められる思考や知識を学ぶ研修を取り入れるとともに、デジタルツールの導入や実証実験を通じて、成功体験を積み上げていきます。

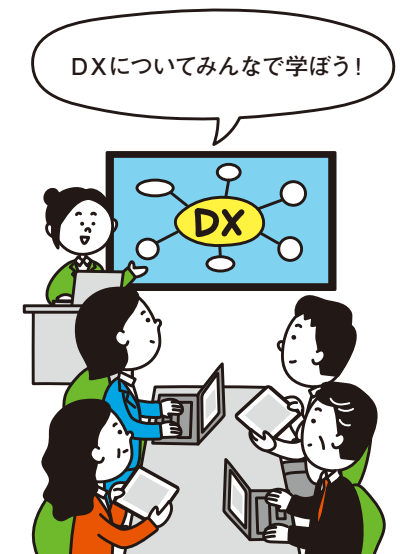
「暮らしのDX」・「産業のDX」の推進に向けては、町民や地域の事業者向けのセミナーやアイデア共創イベントを企画するなど、地域一体となった取組を通じて、町の将来を共に担う人材を育成していきます。

// 想定される主な取組 //

- 庁内階層別DX研修の充実
- デジタルツールの試行導入、DX実証実験の実施
- 町民・地域事業者合同のDX共創イベント・セミナーの開催

// DXにより得られる価値 //

- DX推進を通じた行政の組織風土・職員の意識の改革
- DX共創を通じたまちの将来を担う人材の育成



- 町長を本部長とし、部長以上の幹部により構成する「DX推進本部」を設置し、まちの最優先課題の一つとして全庁を挙げてDXを推進します。
- 庁内のDX推進担当部署である「情報未来課」は、まちづくりを担う各部署との緊密な連携のもと、DX推進活動を活性化していきます。
- DXの推進には専門的知見を有することから、自治体DXのスキル・ノウハウを保有する民間企業との連携や外部有識者による指導を仰ぎ、着実に進めていきます。

